



C=Culture
A=Art
P=Promotion

<http://nstokyo.info>

市民と文化

第25号

2016年6月1日発行

発行人 海老澤 敏

編集人 西田 克彦

佐藤 公男

TEL:080-1164-5253

市民・街・文化をネットワークする「はーもにい」(西東京市文化芸術振興会)

20万都市にふさわしい1,300人規模のホール建設を！

市民会館の老朽化による取り壊し計画に関連して、第一次試案を公表！

西東京市は老朽化による市民会館の取り壊しに伴い、同跡地に市民会館と中央図書館、公民館の3館合築複合化案を提示した。当然のことながら各施設とも現有規模を大幅に縮小せざるを得ない状況となり単に規模のみならず、利便性や充実性等の観点から多くの市民から強い反発、反対の声が相次いだ。

当振興会でも当市の文化施設のあり方を考える絶好の機会に直面し、さらに首都圏においてコンサートホール不足が生じる、いわゆる「2016年問題」として大きくクローズアップされていることから、この機会に20万都市にふさわしい市民文化ホールの建設構想を提案することとした。

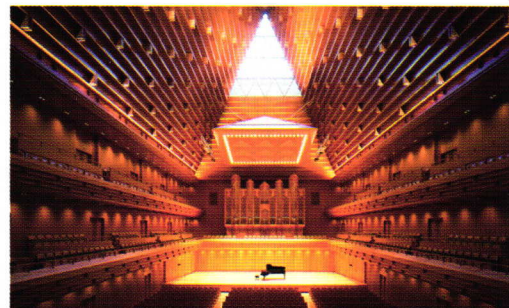
まず、多くの市民が利用しやすいことを第一に「高齢者、子ども、障がい者にも配慮すること」を優先しバリアフリー化を進めるとともに、座席はゆとりのある設計とし、ロビー、ホワイエ（ギャラリー）を充実させ、市民交流の場としての空間を目指している。

またホール機能も重視し、音響効果が高く評価されている長方形の「シューボックス（靴箱型）」を一案としつつ、音楽専用ホールに限定せず、多目的ホールとしての機能も備えることを基本とした。

同様の施設としては、めぐろパーシモンホール（1200席）、東京オペラシティ（1632席）、所沢ミュージズ（2002席）等があげられる。

なおこの構想は第一次試案で、これから文化関係者に限らず広く市民の声を取り入れ反映させ、よりよいプランにしていきたいと考えている。ぜひみなさんのご意見ご感想をぜひお聞かせください。振興会アドレスcap-nstokyo@max.odn.ne.jp

(記：赤澤立三)



東京オペラシティ・リサイタルホール(HPより)

「定期総会」、「市民文化サロン」が開催されました！



4月23日（土）、フレンドリーにおいて、丸山市長、田中こもればいホール新館長をお招きして、第8回定期総会が行われました。海老澤敏会長は「今年から大学を退職したので、できるかぎりお手伝いしていきたい」との挨拶があり、赤澤副会長からは「今後の市全体の文化ビジョンを考えると、田無駅近くに1300人規模のホールが必要だ」と提案され、今後市民の意見を取り入れながら検討していくことになりました。

終了後行われた「市民文化サロン」では、会員である米田慎哉さんが「西東京から発信する社会貢献ミュージカルとは！」と題して講演されました。

自殺対策ミュージカル「やまない雨」等の作品の創作のご苦労や、これからの希望などを熱く語られました。今年度も当振興会は、市民の方々の文化活動を支援していきたいと思ひます。

(記：権藤 成)

